

保存版

防災

ハザードマップ

“いざ”という時のために、備えよう!

令和6年3月改訂



◀ PC・スマホでも!!



志免町





はじめに



シメッチャ

「志免町防災ハザードマップ」は、町民の皆様には風水害や地震に関する情報を提供し、災害に対して事前の備えに役立てていただくことを目的に作成しています。

この防災ハザードマップは、平成31年3月に作成した掲載内容を更新したものです。洪水浸水想定区域については、宇美川に加えて、須恵川、井野川、綿打川(小規模河川)が福岡県において正式に指定されましたが、当町は、小規模河川を含めた防災ハザードマップも作成していましたので、大きな変更点はありません。

ご家族で防災について話し合う機会や、自主防災組織など家族や地域の防災活動にぜひ役立ててください。

【目次】



- はじめに・目次
- 防災ハザードマップの使い方・オリジナル防災マップを作ろう …… 1
- 志免町過去の災害記録 …… 2～3
- 地震 …… 4
- 地震発生時の対応 …… 5
- 洪水 …… 6
- 大雨・洪水時の避難行動マニュアル …… 7
- 土砂災害 …… 8
- 火災 …… 9
- 情報収集 …… 10
- 日頃の備え:自助 …… 11
- 日頃の備え:共助 …… 12～13
- 避難のポイント …… 14
- 非常時持出品(例)・備蓄品(例) …… 15
- 避難所一覧 …… 16
- 洪水ハザードマップ・索引図 …… 17
- 洪水ハザードマップ …… 18～29
- 地震揺れやすさマップ(警固断層) …… 30
- 地震揺れやすさマップ(宇美断層) …… 31
- 高潮ハザードマップ …… 32～33

発行：志免町
制作・著作：株式会社ゼンリン福岡営業所
作成：令和6年3月

この地図は、志免町長の承認を得て、同町所管の測量成果志免町基本図(1/2,500)を使用したものです。(承認番号 志免町都第1224号)
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5JHs 167-121号

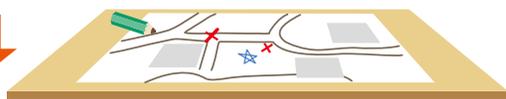
(禁無断複製) © 2024 ZENRIN CO., LTD.



防災ハザードマップの使い方

- 防災ハザードマップは、見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。
- 防災ハザードマップに表示してある危険箇所については、土砂災害、洪水、浸水、高潮の発生する可能性のある場所を示しています。自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。
- 避難所兼緊急避難場所については、災害によって住居を失うなど、被害を受けた人や受ける可能性がある人が一定の期間避難生活をする場所です。避難する場合に備え、最寄りの避難場所を確認しておきましょう。

ステップ① 自宅周辺の「災害リスク」を知りましょう。



●ハザードマップから自宅周辺の災害リスクを確認しましょう。

自宅周辺に洪水・浸水想定区域及び土砂災害警戒区域があるのか
確認しましょう…………… (17～33ページ詳細情報)

ステップ② 自宅周辺の「最寄りの避難所」を知りましょう。



●最寄りの避難所を確認しましょう。

避難所一覧から確認しましょう…………… (16ページ避難所一覧)
ハザードマップから避難経路を確認しましょう…………… (17～33ページ詳細情報)

ステップ③ 非常時持出品を知りましょう。



●避難時の持出品を確認しましょう。

非常時持出品・備蓄品を確認しましょう
※家族構成で持出品は変わります…………… (15ページ非常時持出品(例)・備蓄品(例))

ステップ④ その他防災情報を確認しましょう。



●防災情報の入手方法を確認しましょう。

町及び各関連省庁が発信する正確な情報を確認しましょう…………… (10ページ情報収集)

わが家のオリジナル防災マップを作ろう!

家族で防災について話し合う際、ぜひ挑戦してほしいのが「わが家の防災マップ」作りです。最寄りの避難場所の位置、災害時の危険箇所や防災設備の情報などを記載して、安全な避難経路を設定しましょう。



防災マップの作り方

①地図を準備しよう



②自宅に印をつけよう



③避難場所に印をつけよう(ハザードマップ等で確認)



④自宅周辺の危険箇所を把握しよう(ハザードマップ等で確認)

- 危険なブロック塀 □蓋のない側溝
- 洪水浸水想定区域 □土砂災害警戒区域 等



⑤安全な避難経路を設定しよう



(その他)

公園や公衆トイレ、公衆電話、AEDの位置等を確認しておきましょう。
家族の緊急連絡先も確認しておきましょう。



志免町 過去の災害記録

過去の災害

地震

洪水

土砂災害

火災

情報収集

自助

共助

避難

非常時
持出品

避難所
一覧

洪水ハザード
マップ

揺れやすさ
マップ

高潮ハザード
マップ

玄界島

平成15年(2003年)7月大雨

吉原橋上流(堤防決壊)



平成15年7月19日、宇美川上流の三郡山麓で、時間降雨量約100mmの豪雨が2時間にわたり発生し、下流域の宇美町、志免町、福岡市に甚大な被害が出ました。

志免町では、各地で宇美川が溢れ、吉原橋上流左岸の堤防が決壊しました。

この水害による町の被害は、床上浸水190世帯、床下浸水259世帯に達しました。

その後、平成15年から平成19年まで、宇美川の河川改修工事が行われました。この工事では、川幅の拡張や河底の掘り下げ、堤防の補強、橋の架け替え等が行われました。

志免西小学校前(県道68号線冠水)



志免城戸公園交差点(土砂堆積)



亀山橋上流(町道沿いが陥没)

吉原橋上流(堤防決壊)

河川改修後の吉原橋付近

平成21年(2009年)7月大雨

平成21年7月24日から26日にかけて、梅雨前線の活動が活発化し、中国地方や九州北部で、記録的な大雨となりました。

24日夕方頃には、博多(福岡空港)で1時間116mmの大雨を記録しました。

この水害による町の被害は、床上浸水52世帯、床下浸水164世帯に達しました。



日枝橋(堤防損壊)



田富橋上流(堤防損壊直後の応急作業)

平成17年(2005年)

福岡県西方沖地震

平成17年3月20日10時53分頃、福岡県北西沖を震源とするマグニチュード(M)7.0の地震が発生しました。福岡市中央区・東区と福岡県前原市(現糸島市)、佐賀県みやき町で震度6弱を観測したほか、九州地方から関東地方に至る広い範囲で震度5強～震度1を観測しました。九州地方で震度6弱以上の揺れが観測されたのは、1997年5月の鹿児島県薩摩地方の地震(M6.4、最大震度6弱)以来のことでした。

各地の地震の震度

震度6弱	福岡県	福岡市(中央区、東区)、前原市(現糸島市)
	佐賀県	みやき町
震度5強	福岡県	福岡市(西区、早良区)、久留米市、大川市、春日市、粕屋町、須恵町、新宮町、志摩町(現糸島市)、久山町、穂波町(現飯塚市)、二丈町(現糸島市)、碓井町(現嘉麻市)
	佐賀県	上峰町、七山村(現唐津市)
	長崎県	杵岐市
震度5弱	福岡県	福岡市(博多区、城南区)、直方市、飯塚市、柳川市、中間市、小郡市、大野城市、宗像市、福津市、うきは市、那珂川町(現那珂川市)、宇美町、篠栗町、志免町、大島村(現宗像市)、遠賀町、若宮町(現宮若市)、筑賀町(現飯塚市)、朝倉町(現朝倉市)、夜須町(現筑前町)、大刀洗町、大木町、高田町(現みやま市)
	佐賀県	唐津市、鳥栖市、多久市、小城市、諸富町(現佐賀市)、川副町(現佐賀市)、東与賀町(現佐賀市)、久保田町(現佐賀市)、大和町(現佐賀市)、神埼町(現神埼市)、千代田町(現神埼市)、三田川町(現吉野ヶ里町)、三瀬村(現佐賀市)、北方町(現武雄市)、江北町、白石町、嬉野町(現嬉野市)
	大分県	中津市

福岡県西方沖地震による被害状況(余震分含む)

市町村名	人的被害			住家(住居)			最大避難者数 (カッコ内の日に発生)
	死者	負傷		全壊 棟	半壊 棟	一部損壊 棟	
志免町		14	1	13		55	10(3月21日)
新宮町		2		2		216	
宇美町					2	36	
久山町		3		3		14	
粕屋町		1	1			6	22(3月20日)
須恵町		2		2		108	11(3月20日)
篠栗町		5	1	4		28	
古賀市						242	6(3月20日)
福岡市	1	926	163	875	141	323	4,756 2,759(3月20日)
その他の市町村合計		233	31	90		29	3,729 68(3月21日)
合計	1	1,186	197	989	143	352	9,190 2,876(3月21日)

(福岡県「平成17年災害年報」より ※最大避難者数については「福岡県西方沖地震震災対応調査点検委員会報告書」平成17年7月より)

福岡県における震度6弱は観測史上初めて

福岡県は地震による被害を受けた経験が少ないといわれてきました。福岡管区気象台の有感地震記録によると、明治37年(1904年)に近代的な地震観測が開始されて以降、福岡県西方沖地震発生までは、震度5以上を観測したことは一度もなく、震度4が最大でした(震度4は5回観測)。

福岡県及び志免町の被害状況

福岡県における人的被害は、死者1人(福岡市博多区、ブロック塀倒壊によるもの)、重傷者197人、軽傷者989人の計1,187人でした。被害の多くは福岡市と隣接する前原市(現糸島市)で発生し、特に震度6弱から5強を観測した福岡市に人的被害の約9割が集中しました。県内の住家被害は9,685棟に上りました。

志免町においては震度5弱を観測し、負傷者14人(重傷1人、軽傷13人)住家の一部損壊55棟の被害などが発生しました。





地震

地震は洪水や土砂災害などと違い、いつでもどこで起きるかわかりにくい自然災害です。

いざというときにあわてずに適切に行動できるよう、日頃から地震時の心構えを身につけておきましょう。

志免町で想定される地震について

●志免町周辺に存在する活断層の評価

活断層名	警固断層(南東部)	宇美断層
想定される地震の規模(マグニチュード)	7.2	6.9
今後30年以内に地震が発生する確率	0.3~6%	不明

※志免町周辺の活断層位置図



出典 福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書(平成24年3月発行)

地震の揺れと想定される被害

【震度0】

●人は揺れを感じないが、地震計には記録される。

【震度1】

●屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

【震度2】

●屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。

【震度3】

●屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。

【震度4】

●ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。



【震度5弱】

●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

●棚にある食器類や本が落ちることがある。

●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



【震度5強】

●物につかまらなさと歩くことが難しい。

●棚にある食器類や本で落ちるものが増える。

●固定していない家具が倒れることがある。

●補強されていないブロック塀が崩れることがある。



【震度6弱】

●立っていることが困難になる。

●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。

●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



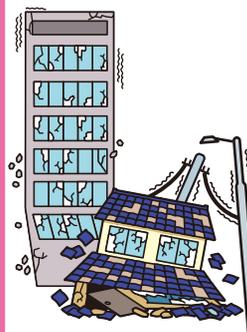
【震度6強】

●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。

●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。

●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



【震度7】

●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。

●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。

●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

緊急地震速報について

(((●))) 緊急地震速報を活用して身を守ろう!

- 最大震度5弱以上が推定される場合、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて緊急地震速報が発表されます。
- 速報発表から揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒くらいです。
- 自分の身を守るため、最大限に活用しましょう。

※震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります!



ピロポローン



家の中の地震対策については11ページを参照してください。



地震発生時の対応

関連Webサイト

気象庁 気象警報・注意報



気象庁 地震情報



地震発生時の時間経過別行動マニュアル



とにかく自分の身を守ろう!

●地震だ! まず身の安全

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。



2~5分

しっかり火の始末で、火災防止!

●大揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。



5~10分

わが家の安全確認、確保!

●火の始末のあと

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。

10分~半日

隣近所の安否確認、助け合い!

●外に出たあと

家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。



半日~3日

2、3日は自分でしのぐ!

●避難後、数日間

地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品(非常用品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。

地震発生時の注意点

屋内では…

- ◆頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。
- ◆あわてて外へ飛び出さない。

屋外では…

- ◆ブロック塀などの倒壊に注意する。
- ◆看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。

人がおおぜいいる施設では…

- ◆係員の指示に従う。
- ◆落ち着いて行動する。
- ◆あわてて出口に走り出さない。

自動車運転中は…

- ◆あわててブレーキをかけない。
- ◆ハザードランプを点灯し、揺れを感じたら路肩に寄せてゆっくり停止する。

山やがけ付近では…

- ◆落石やがけ崩れに注意する。



エレベーターでは…

- ◆全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐに降りる。





洪水

大雨などで、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが原因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こり得る災害に対応しましょう。

関連Webサイト

気象庁
雨雲の動き



気象庁
洪水キキクル



国土交通省
川の防災情報



福岡県
総合防災情報



はん濫の種類

雨量の増加によってもたらされる「はん濫」には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水はん濫」と、街中の排水が間に合わず、水路などからあふれ出す「内水はん濫」の2タイプがあります。

外水はん濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越えたり、堤防を決壊させたりして、川の水が外にあふれておきる洪水。はん濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大限の注意が必要。



内水はん濫

通常、雨水は水路などを通じて河川に排水されるが、豪雨により、水路の排水能力が追いつかなくなるなどしてあふれ出す洪水。



雨の強さと降り方 (1時間降雨量)

やや強い雨

10~20mm未満



ザーザーと降る。話し声が聞きとりにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。

強い雨

20~30mm未満



どしゃ降り。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小さな川なら水があふれ出したり、がけ崩れの心配もあります。

激しい雨

30~50mm未満



バケツをひっくり返したように降る。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路の規制も行われます。避難の準備をしましょう。

非常に激しい雨

50~80mm未満



滝のように雨が降る。あたりが水しぶきで白っぽくなります。家の中で寝ている人の半分くらいが気づくほどの激しい雨です。

猛烈な雨

80mm以上



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大雨による災害が起こる恐れがあります。厳重な注意が必要です。

大雨などから避難するときの注意点

ポイント

1 動きやすく、安全な服装で

ヘルメットで頭を保護し、靴はひもで締められる運動靴にする。裸足・長靴は厳禁。



ポイント

3 単独行動はしない

避難するときは2人以上で流されないように、ロープでお互いを結ぶ。



ポイント

5 要配慮者を守る

高齢者や傷病者は背負い、子どもには浮き輪などをつけて安全を確保する。



ポイント

2 足元に注意

道路が冠水すると足元が見えにくくなり、側溝やマンホールに気づきにくくなる。長い棒などを杖代わりにして歩くと安全。
※電柱などを目印にするなど



ポイント

4 深さに注意

歩行可能な水深の目安は約50センチ。水の流が速い場合は20センチ程度でも危険になる。危ないと判断した場合は、無理をせず、高所で助けを待つ。



ポイント

6 垂直避難

避難する方が危ないという場合は、屋内の2階以上に避難するようにしましょう。





大雨・洪水時の避難行動マニュアル

5段階の警戒レベル

水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、それぞれの状況に応じて避難できるよう、「5段階の警戒レベル」に応じた避難行動をとりましょう。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~			
<b>4</b>	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※2	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・ 高潮注意報(気象庁)
<b>1</b>	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。  
 (注) 警戒レベル3以上は市町村が発令する。

## 自主避難について

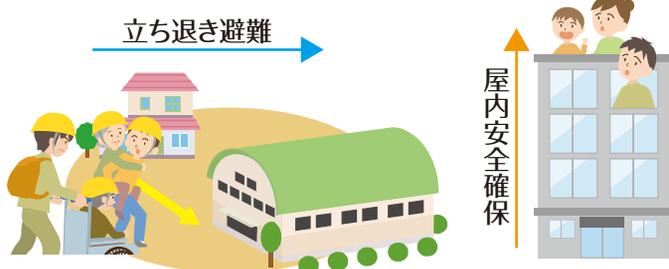
### 危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、町からの避難情報が間に合わないケースもあります。

身の危険を感じたら、すぐに安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

## 命を守るための避難行動

危険な状況での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えましょう。危険が切迫している場合は、指定された避難場所等への移動(立ち退き避難)だけでなく、近隣の安全な建物などへの避難や、屋内のより安全な場所への移動(屋内安全確保)が必要な場合があります。



## 避難情報の発令基準 片峰新橋(宇美川)の水位



▲志免町防災  
気象情報システム





# 土砂災害

関連Webサイト

気象庁  
土砂キキクル



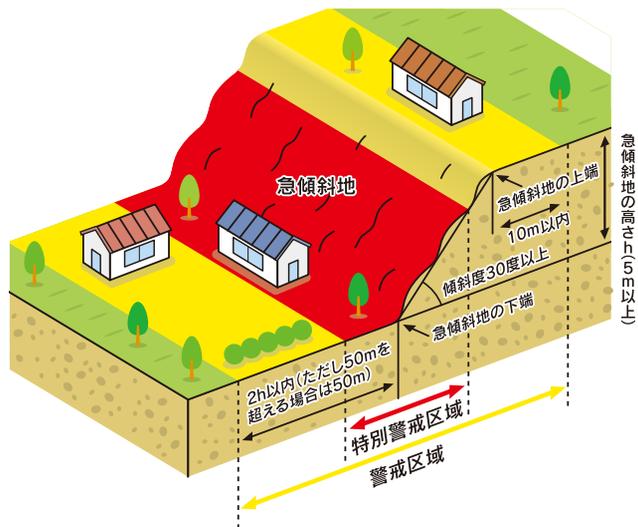
福岡県  
土砂災害警戒区域等



福岡県  
総合防災情報



## 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)・土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) について



### 土砂災害警戒区域 (通称：イエローゾーン)

#### ■急傾斜地の崩壊

- (イ) 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- (ロ) 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- (ハ) 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

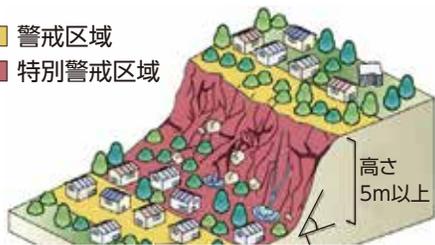
### 土砂災害特別警戒区域 (通称：レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊などに伴う土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生ずる恐れのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域。

## 土砂災害の種類と前兆現象

### がけ崩れ

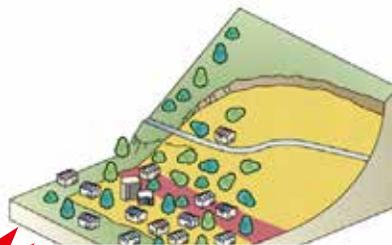
- 警戒区域
- 特別警戒区域



雨や地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。

- がけから水がわき出ている。
- がけから小石がパラパラと落ちてくる。
- 地鳴りがする。
- がけにひび割れができる。

### 地すべり



雨が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水がふき出す。

このような前触れに注意!

## 土砂災害警戒情報とは

「土砂災害警戒情報」とは、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、町役場が避難情報などを発令する際の判断や、住民の皆さんの自主避難の参考となるよう、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

## 土砂災害警戒情報が発表されたら

「土砂災害警戒情報」が発表された時は、「いつ土砂災害が起きてもおかしくない」という非常に危険な状態です。

情報は、市町村単位で発表されますので、住民のみなさんの自主避難の判断に活用できます。

## 土砂災害から身を守るために

早めに避難

### まずは事前の確認!

土砂災害から避難するためには、事前に防災ハザードマップを使って危険箇所を確認しておきましょう。



### 早めに避難!

土砂災害の危険を感じたら、近所に声かけて、できるだけ早めに避難しましょう。避難が難しい場合は、家の中のより安全な場所(崖と反対側の2階の部屋等)に避難しましょう。



## 大雨注意報

大雨によって災害が起こる可能性がある状況

## 大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがある状況

さらに雨が続くと

土砂災害警戒情報

非常に危険な状態です



# 火災

過去の  
災害

地震

洪水

土砂災害

火災

情報収集

自助

共助

避難

非常時  
持出品

避難所  
一覧

洪水ハザード  
マップ  
揺れやすさ  
高潮ハザード  
マップ

## 初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報する。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

### 1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければ音の出る物などを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。



### 2 早く消火する

- 火が横に広がっているうちは消火可能。ただし、炎が天井に届いたときは避難する。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、濡らした毛布やタオルで火を覆うなど手近なものを活用する。



### 火元別初期消火のコツ

油なべ	水をかけるのは厳禁。消火器がなければ、ぬらしたタオルをかぶせる。
ストーブ	消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は粉末消火器で。
衣類	着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。
電気製品	いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて消火を。
カーテン・ふすま	引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。



### 3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、煙を吸わないように鼻と口を服やハンカチでふさぎながら避難する。



## 消火器の使い方

### 粉末・強化液消火器の場合



### 消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。炎にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずにノズルをしっかり握って燃えているものに向けて火の根元を掃くように左右に振る。



## 火災予防が一番!!

### 住宅用火災警報器を設置していますか?

消防法により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。火災の逃げ遅れによる死傷者を出さないためにも設置しましょう。

### 火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室（子ども部屋や高齢者の居室など就寝に使われている場合は対象となります）への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置もおすすめします。

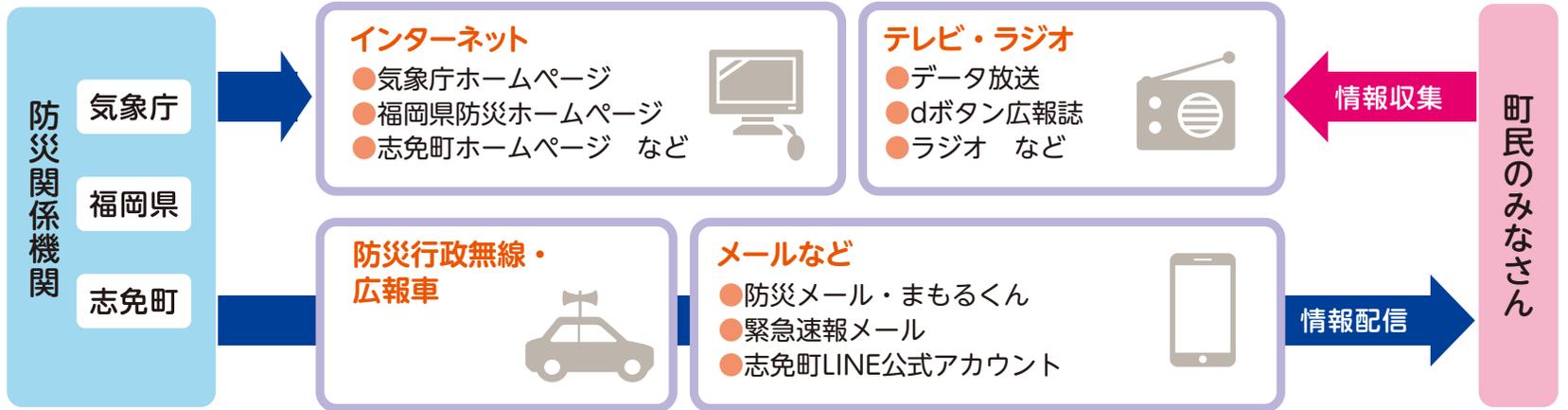




# 情報収集

命を守るために情報の収集に努めてください。  
早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

## 防災情報の伝達経路



## 防災情報の収集方法

### ▼志免町ホームページ

志免町



### ▼志免町防災気象情報システム

志免町防災気象情報システム



### ▼福岡県総合防災情報

福岡県総合防災情報



### ▼福岡県防災ホームページ

福岡県防災ホームページ



### ▼気象庁 キキクル

キキクル



### ▼気象庁 警報・注意報

気象庁 警報・注意報



### ▼福岡県防災アプリ 「ふくおか防災ナビ・まもるくん」

気象や避難情報が入手できるスマートフォンアプリです



▼App Store



▼Google Play



### ▼防災メール まもるくん

福岡県が提供する防災情報などのメール配信システムです  
いざという時のために登録し、情報収集に役立ててください



### ▼志免町LINE公式アカウント

情報を受け取るには、無料SNSアプリ「LINE(ライン)」での友だち追加が必要です

アカウント名: 志免町  
LINEID: @shimetown



### ▼志免町ため池ハザードマップ

志免町内にある防災重点ため池の浸水想定区域や適した避難所などが確認できます



### ▼重ねるハザードマップ

地図上で災害リスク情報がわかりやすく表示され、目が不自由な方でも音声読み上げソフトを使うことで、災害リスクを把握できます



### ▼多言語で災害時に便利なアプリとWEBサイト

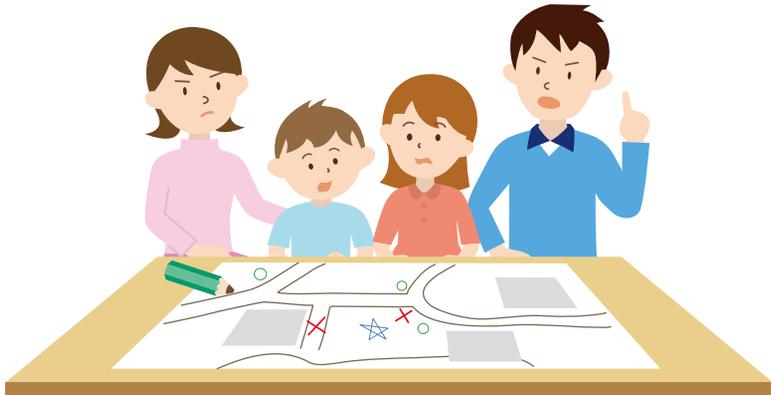
内閣府が外国の方向けとして災害時に便利なアプリとWEBサイトを多言語でまとめたリーフレットを作成しています



## 家族で防災会議

災害は家族が一緒にいる時に起こるとは限りません。いざという時にあわてず行動できるよう家族で普段から話し合しましょう。

※災害時は「自分たちの命は自分たちで守る」(自助)という意識がとても重要です。



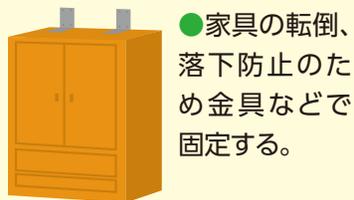
### 話し合いたい項目

- 自宅周辺の危険箇所の確認
- 避難場所と避難経路の確認
- 災害が起こった時の身の守り方(家の中ではどこが一番安全か)
- 非常持出品
- 家族間の連絡方法と、最終的に会う場所
  - ※ 本防災ハザードマップの裏表紙に記入しておきましょう。
  - ※ 乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭はその避難方法も話し合しましょう。

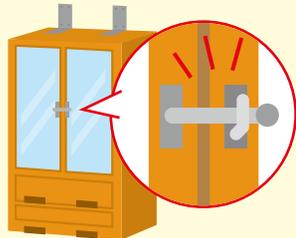
## わが家の安全対策を確認しましょう

安全と思われる家の中や家のまわりでも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすおそれがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。また、**昭和56年5月以前の建物は必要に応じて耐震診断、耐震補強をしましょう。**

### 家の中の安全対策



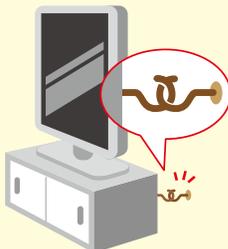
●家具の転倒、落下防止のため金具などで固定する。



●L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具を付ける。



●出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。



●できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



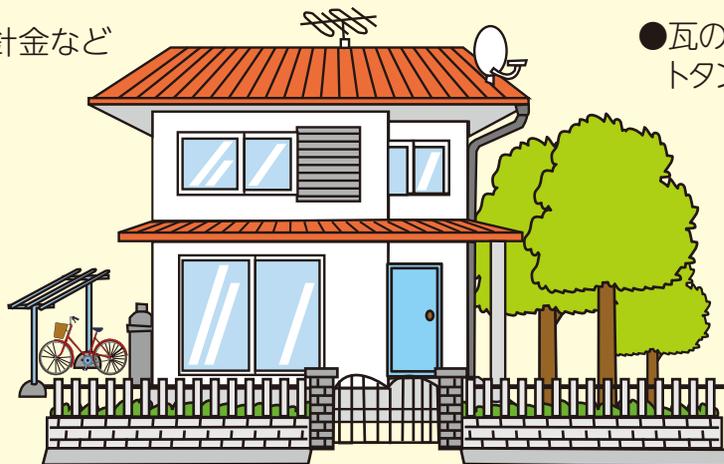
●扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



●家族が家具の落下等によって怪我しないように室内に安全スペースを作っておく。また、就寝中に倒れた家具の下敷きにならないよう、寝室には背の高い家具などを置かないようにする。

### 家の外の安全対策

- アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
- 外壁に亀裂はないか。
- ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。
- 農業用水路や、排水溝(下水溝)、雨どいのゴミや泥、落ち葉や土砂を取り除き、水はけを良くしておく。



- 瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。トタン屋根のめくれ、はがれはないか。
- 窓枠のがたつきはないか。ひび割れはないか。飛散防止フィルムなどを貼る。
- 物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。
- プロパンガスボンベが固定されているか確認する。

電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡しましょう。



# 日頃の備え:共助

## 地域全体で防災に取り組もう

大規模災害が発生したとき、公的機関による支援が届くまでの間、近所の人たちが協力して初期消火活動や救出活動に当たらなければなりません。**災害時、頼りになるのは地域住民の助け合いである「共助」**です。地域に暮らす私たちは、お互いに助けたり、助けられたりする関係にあります。いざというときに備え、みんなで協力しあって地域を守っていくことが大切です。



## 1. 自主防災組織とは？

災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言います。

● 平時には“まず”次のような活動を行います。

### 防災知識の普及・啓発

防災についての正しい知識を地域住民に普及させるために、防災講演会といった防災に関連したイベントなどを実施します。



### 地域内の危険箇所の点検

防災の基本は自分たちの住むまちを知ることです。地域内の危険箇所や防災上の問題点を洗い出し、優先順位を決めて改善します。



### 防災資機材の整備・点検

災害発生時の各種活動に使用する資機材を準備します。日頃から不備や故障などがないか点検し、正しい使用法を身につけます。



### 防災訓練の実施

いざというときに正しい行動が取れるように、災害の発生を具体的に想定した防災訓練を定期的に行います。



## 2. なぜ、自主防災組織が必要なの？

阪神・淡路大震災の際、助かった人の多くが「自力」または「近所の人等」によって助け出されたといわれています。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで自主防災組織に積極的に参加し、地域住民がお互いに助け合い、人命救助や消火にあたることで被害をより少なくすることにつながります。

# 日頃の備え:共助

過去の災害  
地震  
洪水  
土砂災害  
火災  
情報収集  
自助

● 各班の日頃(平常時)と緊急時(災害発生時)の活動内容は概ね次のような役割になります。

	情報班	消火班	避難誘導班	救出救護班	給食・給水班
平常時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民に対しての連絡体制、手段の検討</li> <li>○情報収集・伝達訓練の実施</li> <li>○防災意識の啓発、高揚に関する広報</li> <li>○公的防災機関との連携確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初期消火訓練の実施</li> <li>○消火用水の確保、確認</li> <li>○出火防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前に避難路、避難場所を把握</li> <li>○避難誘導訓練の実施</li> <li>○避難路の安全点検</li> <li>※危険箇所(がけ、ブロック塀)などの確認等</li> <li>○避難行動要支援者の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応急手当、衛生知識の普及</li> <li>○救命講習への参加</li> <li>○応急医薬品、救助資機材の確保、点検</li> <li>○技能、ノウハウを持った住民の把握</li> <li>○救助用資機材の点検・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食料、飲料水の個人備蓄についての普及啓発</li> <li>○炊き出し訓練の実施</li> <li>○炊き出し用資機材の確保、点検</li> </ul>
災害時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達</li> <li>○地域内の被害情報を収集し、本部へ報告</li> <li>○混乱回避、出火防止等の広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初期消火活動</li> <li>※消防署、消防団の到着までが基本です</li> <li>○情報班と連携しての出火防止等の広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報班と連携しての避難の呼びかけ</li> <li>○安全な経路で避難誘導</li> <li>○要配慮者の避難支援</li> <li>○避難所での安否確認</li> <li>○安否確認による救出救護班への情報伝達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難誘導班と連携しての速やかな救出</li> <li>※二次災害に十分注意</li> <li>○負傷者の搬送、応急手当の救護</li> <li>○避難所・救護所での救護活動への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食料や水、救援物資等の受入、配布</li> <li>○必要に応じて炊き出し</li> </ul>

## 要配慮者が災害時に困ることとその配慮

要配慮者の状態は個人差も大きいいため、災害時に「困ること」はさまざまです。支援する側の方は、要配慮者が災害時に抱える問題を理解しておきましょう。

### ●高齢者

困ること

- 体力に自信がなくて自らの力で避難できないことがあります。
- 認知症などで危険察知や状況判断が困難なことがあります。

配慮

明るい声でゆっくりと話しかけ、孤独感や不安感を抱かせないように配慮しましょう。

### ●子どもや乳幼児のいる家庭

困ること

- 子どもや乳幼児を抱えての避難は、持出品などもたくさん持てません。

配慮

子どもや乳幼児を抱えた人を見かけたら、声をかけたり付き添ったりしましょう。

### ●障がいのある人(全般)

困ること

- 危険察知や状況判断が困難で、逃げ遅れるおそれがあります。
- 日常と異なる状況で、パニックになるおそれがあります。

配慮

気持ちを落ち着かせ、冷静にわかりやすく状況を説明し、避難誘導を行うようにしましょう。

## 避難行動要支援者について

要配慮者のうち、災害時または災害のおそれがある際に、自ら避難することが困難で、避難の手助けが必要な方を「避難行動要支援者」といいます(ただし、施設に入所している方は除きます)。

要件区分	①身体障害者手帳1級または2級
	②療育手帳A
	③精神障害者保健福祉手帳1級
	④介護保険の要介護度3以上
	⑤その他災害発生時における支援が必要な方



【①~④の方】  
 ・毎年、避難行動要支援者台帳への登録について、ご案内を送付しています。  
 ・登録を承諾された方は、地域支援者へ情報提供されます。



【⑤の方】  
 ・台帳への登録を希望する場合、申請が必要です。

共助

避難

非常時  
持出品

避難所  
一覧

洪水ハザード  
マップ

揺れやすさ  
マップ

高潮ハザード  
マップ



# 避難のポイント

## 避難に関する2つの情報

災害の危機が迫って避難が必要になった場合に、避難に関する情報を発令します。2種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

**① 高齢者等避難(警戒レベル3)**  
人的被害の発生する危険性が高まった状況。



- 避難するのに時間がかかる高齢者などの要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常時持出品の用意など避難の準備を始めます。

**② 避難指示(警戒レベル4)**  
人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。



- 住民は直ちに避難をおこなってください。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります(2階以上の安全で高い場所に避難)。

## 避難の心得

### 避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう。

具体的には

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる。
- 河川のはん濫により、浸水の危険がある地域に住んでいる。
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいる。



気象情報や町の避難情報に注意し、早めの避難を心がけてください。

### 命を守る最低限の行動を

危険な状況の中での避難は出来るだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定緊急避難場所への移動だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

具体的には

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している。(50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い。
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。



屋外での移動は危険です。自宅や近隣建物の2階以上へ(土砂災害の場合は、斜面から離れた部屋など)緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

## 避難時の心得

非常時持出品は最小限に!



非常時持出品はリュックサックにまとめ、身軽に行動できるよう持出品は最小限にしましょう。

家族の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!



特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。

外出中の家族には連絡メモを残そう!



避難前にはガスの元栓やブレーカーを切り、外出中の家族に「どこどこへ避難する」といったような連絡メモを残しておくといいでしょう。

具体的な避難の心得は・地震は5ページ・水害は6・7ページ・土砂災害は8ページで確認してください。



# 非常時持出品(例)・備蓄品(例)

避難するときに最初に持ち出すのが「非常時持出品」。災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。非常時持出品は、身軽に避難できる量にしましょう。(男性 15 kg 女性 10 kgが目安)

## 非常時持出品(例)

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい

### 貴重品

- ・現金(小銭も用意)
- ・通帳、印鑑
- ・身分証明書
- ・家や車の予備鍵
- ・権利証書

### 情報収集用品

- ・携帯ラジオ(予備の電池)
- ・携帯電話(スマートフォン)の充電器
- ・モバイルバッテリー
- ・筆記用具

### 非常飲食品など

- ・非常食(乾パン、缶詰など)
- ・飲料水
- ・給水袋
- ・万能ナイフ
- ・食器



### 衛生用品(感染症対策用品)

- ・タオル
- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・トイレットペーパー
- ・ハンドソープ、固形石けん
- ・ウェットティッシュ
- ・ビニール袋

- ・下着類
- ・着替え用衣類
- ・生理用品
- ・歯ブラシ
- ・入歯洗浄剤
- ・ビニール手袋

### 安全用品

- ・懐中電灯(予備の電池)
- ・ヘルメット、防災ずきん
- ・軍手
- ・スリッパ
- ・笛やブザー ※居場所を知らせるもの
- ・マッチ、ライター
- ・毛布、保温シート
- ・使い捨てカイロ

### 救急医療品

- ・救急セット
- ・常備薬
- ・お薬手帳

## 備蓄品(例)

●少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備

- ・飲料水 ※1人1日3ℓ
- ・食品
  - ※アルファ化米、長期保存食品など専用品の他、下記ローリングストックの活用を
- ・給水用ポリタンク、バケツ
- ・カセットコンロ、ガスボンベ
- ・使い捨ての食器類
- ・食品用ラップ
- ・ランタン
- ・災害用トイレセット
- ・からだ拭きシート
- ・水のいらぬシャンプー
- ・ガムテープ
- ・ビニールシート



上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

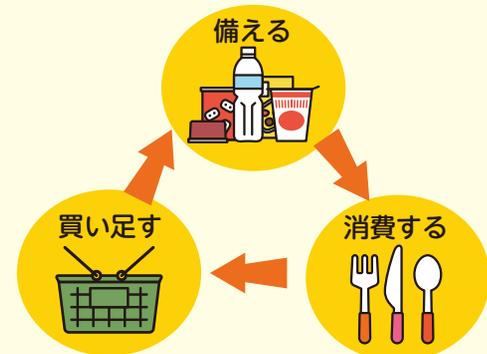
## ローリングストックについて

普段から少し多めに食料品や日用品を買っておき、使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の備蓄を自宅に確保しておくことをローリングストックと言います。

日常生活の中に、非常備蓄を上手に組み込みましょう。

### 一対象品目の例一

ペットボトルの水や飲み物、レトルト食品、インスタント食品、お菓子、乾麺、缶詰、乾物、漬物、カセットコンロのボンベ、ウェットティッシュ、トイレットペーパー、食品用ラップ、ビニール袋、乾電池、使い捨てカイロ



## こんな用意もしておきましょう

### ■乳幼児のいる家庭

ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、洗浄器、おんぶひも、バスタオルまたはベビー毛布、ガーゼなど

### ■妊婦のいる家庭

脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、洗浄器および新生児用品、ティッシュ、ビニール風呂敷、母子健康手帳など

### ■要介護者のいる家庭

着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネ、緊急時の連絡先表など





# 避難所一覧

## 志免町指定避難所

 指定避難所…………… 災害により、被害を受け居住場所を失った場合や、被害を受けるおそれのある場合において、一定期間避難生活をする施設

 福祉避難所…………… 避難所では生活に支障がある要配慮者やその家族、支援者を対象とした施設

※避難所を開設した際は、防災メールまもるくんやホームページ、防災行政無線、志免町公式 LINE 等でお知らせします

校区	No.	避難所名称	所在地	災害種別毎避難所の指定			
				洪水	高潮	土砂災害	地震
西小校区	1	志免西小学校	別府2-4-1	○	○	○	○
	2	西地区社会体育館	別府3-3-2	×	×	○	○
	3	御手洗共同利用施設	御手洗2-13-18	○(2階以上)	○(2階以上)	○	○
	4	アネシス公民館	別府北2-2-2	○(2階以上)	○(2階以上)	○	○
	5	鏡共同利用施設	別府北1-17-10	×	×	○	○
	6	別府文化センター	別府4-22-6	○(2階以上)	○(2階以上)	○	○
	7	西校区ボランティアセンター(別府一公民館)	別府1-21-17	○(2階以上)	○	○	○
	8	別府二公民館	別府西3-9-8	○	○	○	○
	9	別府三公民館	別府東1-7-1	○	○	○	○
	10	南里二公民館	南里6-13-7	○(2階以上)	○	○	○
中央小校区	11	志免中学校	片峰4-3-1	○	○	○	○
	12	志免中央小学校	志免中央1-8-1	○	○	○	○
	13	志免町民センター	志免中央1-2-1	○	○	○	×
	14	ふれあいセンター(福祉避難所)	志免中央1-3-1	○	○	○	○
	15	志免町民体育館	志免中央1-10-1	○	○	○	○
	16	南里一コミュニティセンター	南里2-27-16	○(2階以上)	○	○	○
	17	王子八幡共同利用施設	王子4-22-1	○	○	○	○
	18	南里三公民館	王子1-17-11	×	○	○	○
	19	中央校区ボランティアセンター(志免六公民館)	片峰中央4-1-1	○	○	○	○
	20	志免五公民館	片峰中央3-16-21	○	○	○	○
	21	坂瀬団地集会所	坂瀬10-1	○	○	○	○
	22	東校区ボランティアセンター(志免四公民館)	志免1-1-8	○	○	○	○
	23	志免二コミュニティセンター	志免1-13-17	○	○	○	○
東小校区	24	志免東中学校	志免東4-4-1	○	○	○	○
	25	志免東小学校	志免東1-1-1	○	○	○	○
	26	志免東保育園	志免東1-1-5	○(2階以上)	○	○	○
	27	シーメイト(福祉避難所)	大字志免451-1	○	○	○	○
	28	東区社会会館	東公園台1-3-1	○	○	○	○
	29	松ヶ丘集会所	松ヶ丘9-1	○	○	○	○
	30	志免三公民館	志免2-8-10	○	○	○	○
	31	向ヶ丘公民館	向ヶ丘2-1-3	○	○	○	○
	32	成和公民館	志免東3-14-12	○	○	○	○
	33	田富共同利用施設	田富4-9-20	○(2階以上)	○	○	○
南小校区	34	志免南小学校	大字吉原556	○	○	○	○
	35	志免南保育園	大字吉原674	○	○	○	○
	36	吉原公民館	大字吉原175-3	○(2階以上)	○	○	○
	37	水鉛公民館	大字吉原647-5	○	○	○	○
	38	石橋台公民館	石橋台19-1	○	○	○	○
	39	桜丘一公民館	桜丘1-1-4	○	○	○	○
	40	南校区ボランティアセンター(桜丘中央公民館)	桜丘3-30-10	○	○	○	○
	41	桜丘共同利用施設	桜丘2-15-12	○	○	○	○
	42	桜丘南公民館(桜寿荘)	桜丘4-27-1	○	○	×	○
	43	桜丘五集会所	桜丘5-40-8	○	○	×	○
	44	志免町弓道場	大字別府1259-1	○	○	○	○

# 防災メモ

## 家族の連絡先

氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ

## 親戚・知人の連絡先

氏名	電話	住所	メモ(家族との関係など)

## 避難所

避難所	
家族の集合場所	

### 災害時の連絡方法を覚えておきましょう

電話が混み合う災害時に、家族や支援者との安否確認に役立つのが、NTTの「災害用伝言ダイヤル」や携帯電話各社の「災害用伝言板」です。震度6以上の地震などの大規模災害時に稼働します。

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方 ※音声案内が流れるので、それに従って落ち着いて利用しましょう。

伝言の録音方法 171 ▶ 1 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を吹き込む

伝言の再生方法 171 ▶ 2 ▶ 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 伝言を聞く

「災害用伝言ダイヤル171」サービスを体験できます。(毎月1日、他)

◎詳しくはNTT及び携帯電話会社にお問い合わせ下さい。◎実際に災害が発生した際には体験サービスの利用ができない場合があります。



## 防災行政無線放送を

聞き逃した・聞き取りにくい方へ!!

～ご存知ですか？ 放送内容が確認できます～

防災行政無線放送による緊急時(災害等)放送及び定時放送を聞き逃した方のために、電話(フリーダイヤル)で放送内容が確認できます。内容は、防災行政無線放送の最新の情報を含め過去の履歴が録音されています。(正午のチャイムや夕方の音楽は録音されていません。)災害時の避難情報などについては、防災行政無線放送の内容と同様のものが携帯メールにも配信されます。(一部機種においては受信できないものもあります。)

フリーダイヤル **0120-8982-19**  
ヤクバニイク

dボタン(テレビ)

地上デジタル放送では、天気予報や災害に関する情報を確認できる「データ放送」をリモコンの「@」ボタンから配信しています。NHKや民放各局で配信されており、KBCテレビの「dボタン広報誌」では町のお知らせに加え、災害発生時の避難情報も配信されます。

